

令和6年度

令和7年度

決算・予算

〔速報版〕

令和7年6月

箕面都市開発株式会社

令和6年度決算の概要

1 令和6年度予算と決算を比較すると

- 営業利益、経常利益とも、**予算を上回り、経営は順調**でした。

2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回り**ました。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産^(※1)を除いても、**大幅に増加**しています。
- 経常利益、当期純利益については、**調停条項を大幅に上回り**ました。

(※1):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

3 今後の展望

- 調停以降、着実に増収、増益の実績を積み上げてきましたが、令和6年度にみのおサンプラザ1号館の敷地売却事業が完了し、受託事業の柱の一つを失いました。しかし、文化・交流センターの北館・南館の指定管理を令和6年度に受託し、期中には新たな事業を獲得するなど、令和7年度以降の収入源を確保しました。引き続き新規事業の獲得などを進め、収益増加に努めます。

令和6年度

決 算

1. 令和6年度決算

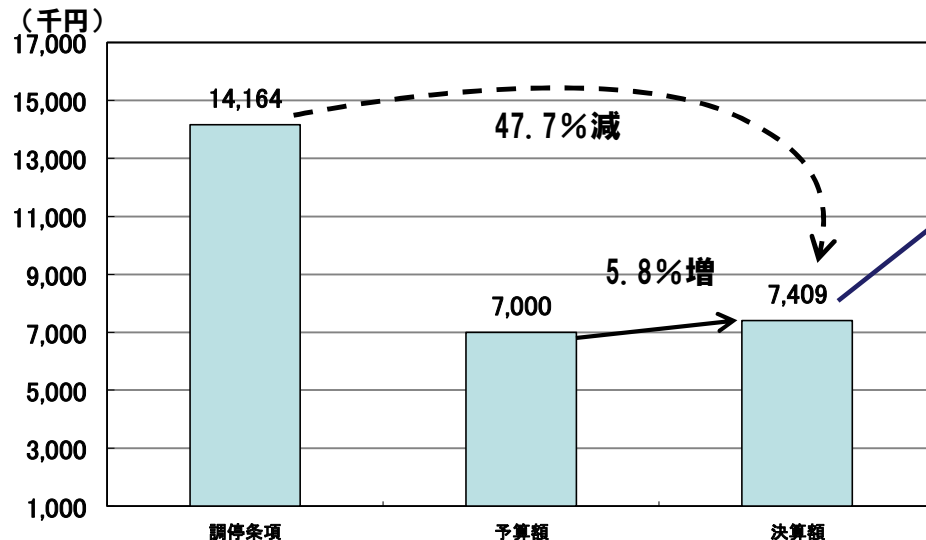
(単位:千円・%)

	令和6年度実績			令和6年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,074	100,000	103,284	3,284	3.3	▲2,790	▲2.6
営業利益	14,164	7,000	7,409	409	5.8	▲6,755	▲47.7
経常利益	12,667	5,000	24,769	19,769	395.4	12,102	95.5
当期純利益(※)	6,216	39,527	58,545	19,018	48.1	52,329	841.8
期末資金残高	82,476	246,118	262,399	16,281	6.6	179,923	218.2
純資産額	71,505	268,626	287,644	19,018	7.1	216,139	302.3

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは…税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

2. 営業利益（本業利益）の比較



決算において、売上高、営業利益は調停条項を下回りましたが、経常利益、当期純利益等については大幅に上回りました。

予算額に対して上回りました。

要因

みのおサンプラザ1号館の建替えに伴い、ビルの管理業務や所有床の賃貸料等が減少し、調停時の収益構造の基盤が大きく変化しました。そのため、今期より減収、減益を見込んだ予算でしたが、新規受託事業の獲得により売上高は増加しました。また、固定資産の売却により、営業外収益、及び特別利益が大きく増加したほか、各種費用削減に努めました。

3.貸借対照表

(単位:千円・%)

	令和5年度		令和6年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	559,610	100.0	605,233	100.0	45,623
流動資産	160,177	28.6	272,251	45.0	112,074
固定資産	399,433	71.4	332,982	55.0	▲66,451
有形固定資産	392,449	98.2	324,324	97.4	▲68,125
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	6,688	1.7	8,362	2.5	1,674
負債合計	329,002	58.8	314,407	51.9	▲14,595
流動負債	25,343	7.7	23,635	7.5	▲1,708
固定負債	303,659	92.3	290,772	92.5	▲12,887
純資産	230,608	41.2	290,826	48.1	60,218
純資産(繰延税金資産除く)	229,100	—	287,644	—	58,544

参考１：経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか

.....➡ 資金計画で判断することが適切

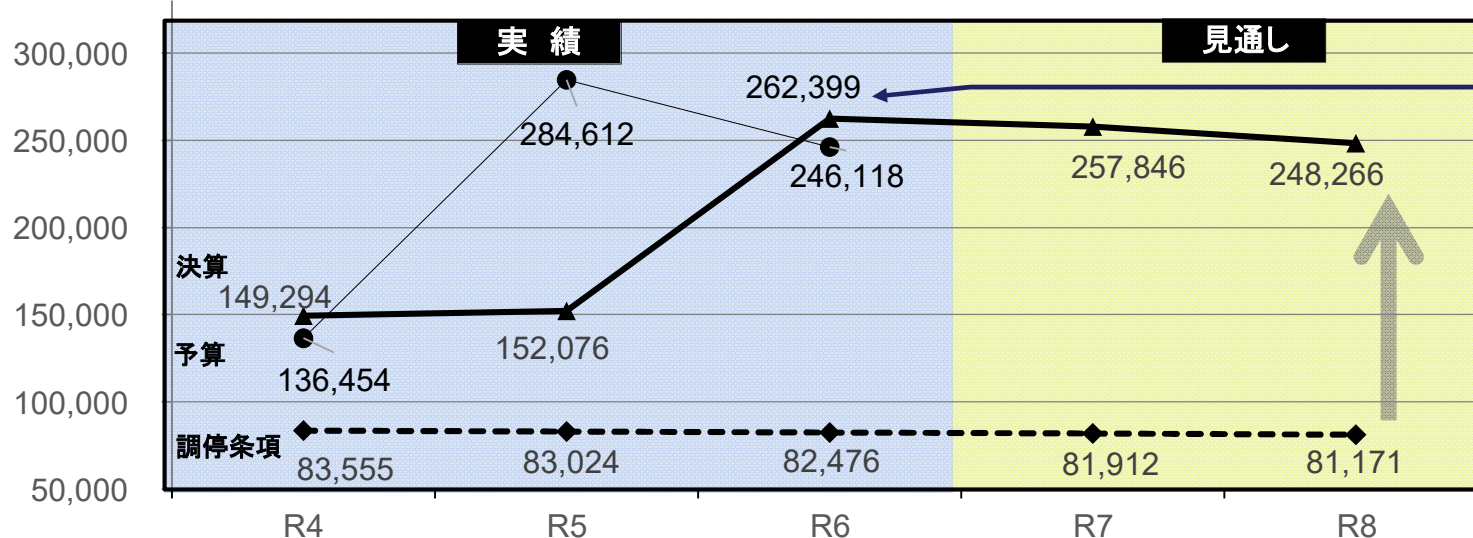
参考２：資金計画の見込み

（１）期末資金残高の推移

（単位：千円）

	各年度の予算・決算実績				令和7年度	令和8年度
	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
調停条項	83,555	83,024	82,476	調停条項	81,912	81,171
予算	136,454	284,612	246,118	今後の見通し 令和6年度決算による	257,846	248,266
決算	149,294	152,076	262,399			

（千円）



令和6年度にみのおサン
プラザ1号館建替えによ
る所有床売却で資金が
増加しました

16期連続で調停条項
の推定推移を上回る予
定です。

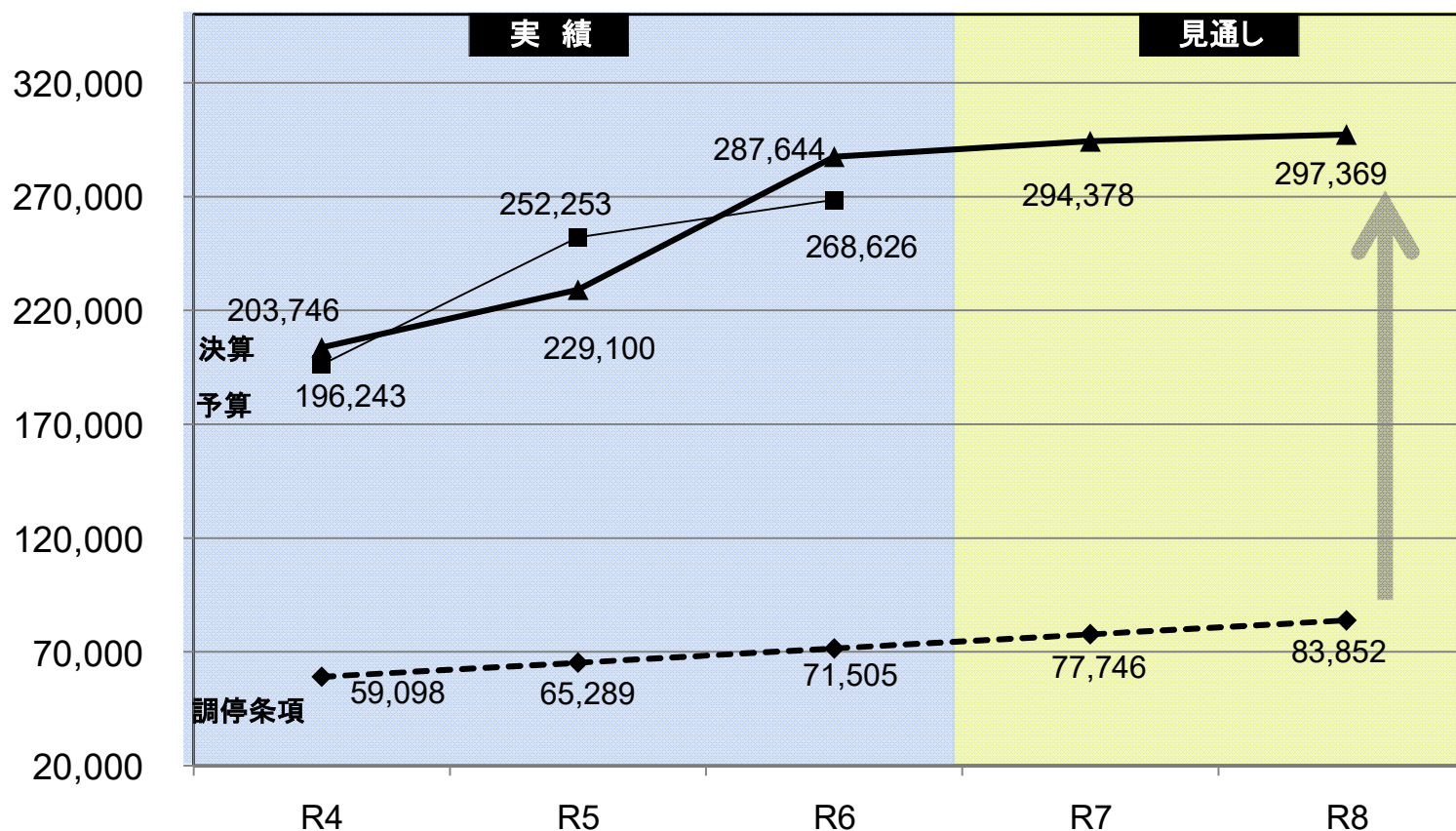
(2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績				令和7年度	令和8年度
	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
調停条項	59,098	65,289	71,505	調停条項	77,746	83,852
予算	196,243	252,253	268,626	今後の見通し 令和6年度決算による	294,378	297,369
決算	203,746	229,100	287,644			

(千円)

(各数値は繰延税金資産を除いています)



調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。

令和7年度

予 算

1. 令和7年度予算と調停条項

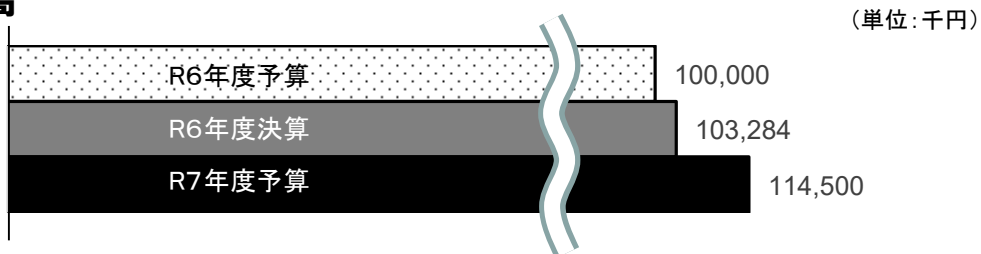
(単位:千円・%)

	調停条項 (令和8年3月期)		令和6年度 予算		令和7年度 予算		令和7年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	令和6年度 予算との増減率
売上高	106,074	—	100,000	—	114,500	—	7.9	14.5
受託料収入	64,990	—	66,602	—	79,577	—	22.4	19.5
所有床賃貸収入	9,000	—	4,958	—	4,957	—	▲44.9	0
土地賃貸収入	21,600	—	25,008	—	25,008	—	15.8	0
受取手数料収入	1,900	—	1,472	—	1,839	—	▲3.2	24.9
文化・交流C売上	8,584	—	1,960	—	3,119	—	▲63.7	59.1
営業利益	14,164	13.4	7,000	7.0	12,500	10.9	▲11.7	78.6
経常利益	12,708	12.0	5,000	5.0	10,545	9.2	▲17.0	110.9
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,241	5.9	39,527	39.5	6,733	5.9	7.9	▲83.0

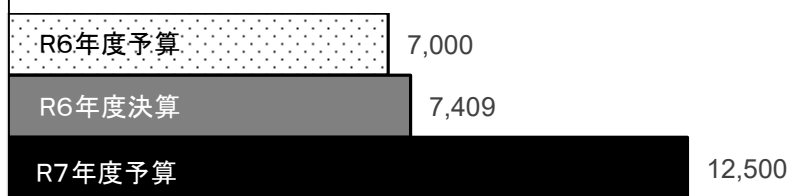
2. 売上高・利益の推移

- ・令和6年度決算において、全ての利益は令和6年度予算を上回りました。
- ・令和7年度予算において、令和6年度決算と比較すると、営業利益は増加し、その他利益については減少します。

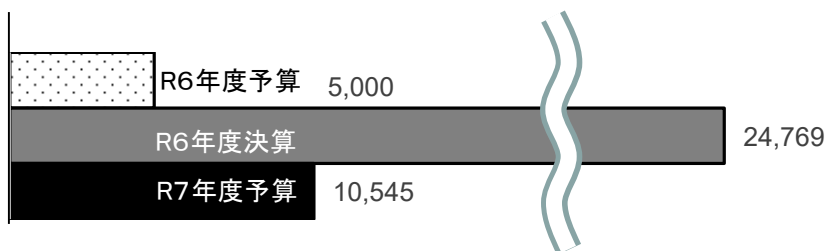
■売上高



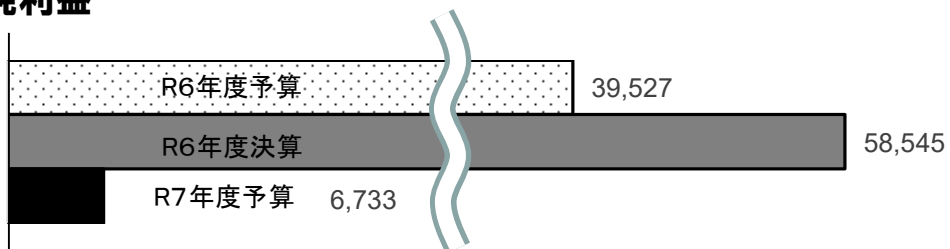
■営業利益



■経常利益



■当期純利益



R6予算とR7予算の比較・主な要因

前年比14.5%増

- 公共施設の受託料収入の増加や、交流センター南館受託料及び利用料の売上が令和6年度期中開館であったところ、今期は全期売上計上による

前年比78.6%増

- 売上高の増加による

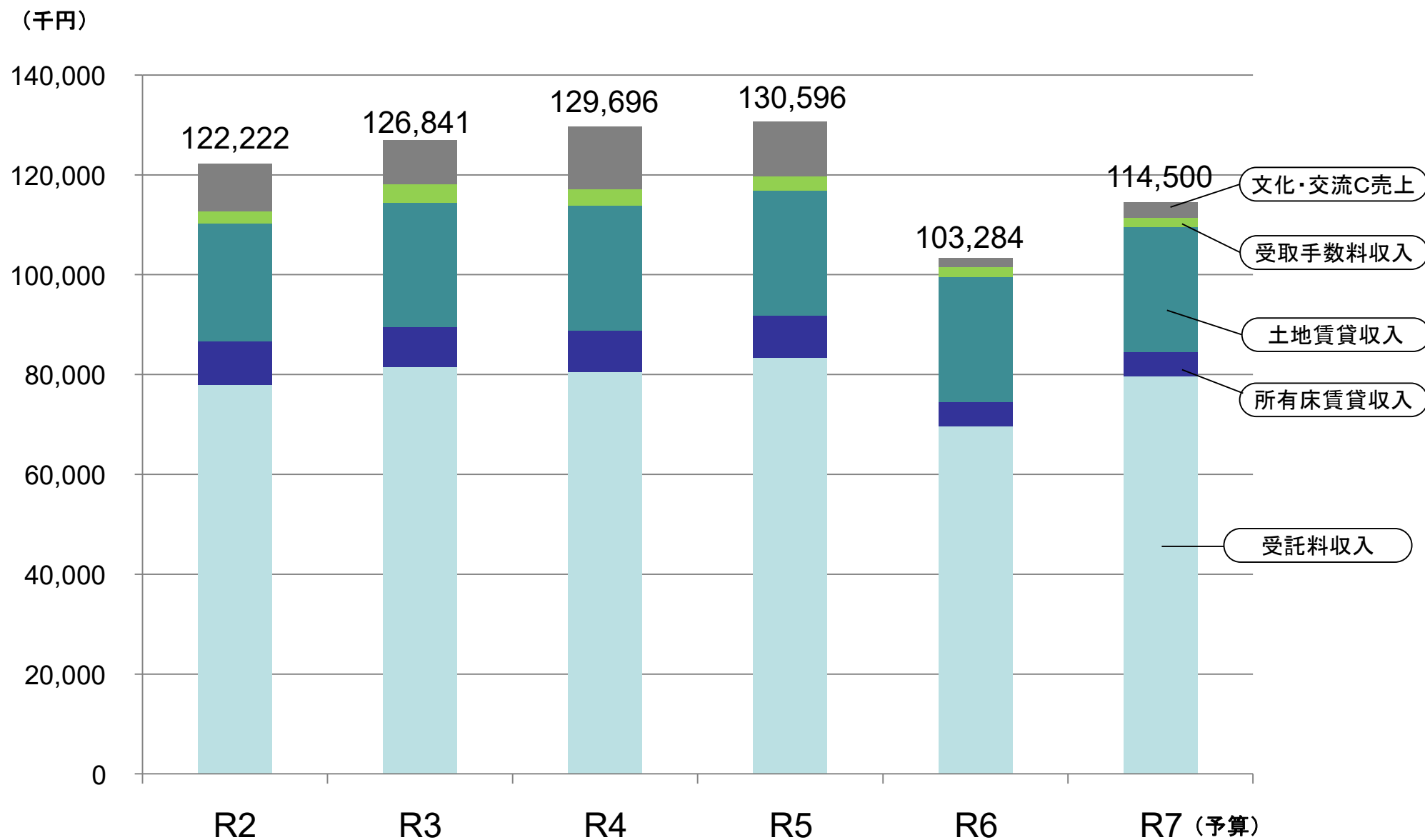
前年比110.9%増

- 敷地売却による1号館ビル及び敷地売却組合の残余財産の返金による

前年比83.0%減

- 令和6年度予算に資産売却による特別利益増加を見込んだため

参考1：事業別売上高の推移



参考2：売上高増減の主な要因

